

フロイント産業株式会社
STANDARD
TOKYO
(証券コード6312)

2024年2月期 第2四半期
決算説明資料

 **FREUND**

目次

● 2024年2月期 第2四半期 連結決算概況	・ ・ ・	P.02
● 2024年2月期 連結業績・配当予想	・ ・ ・	P.16
● トピックス	・ ・ ・	P.19
＜参考資料＞	・ ・ ・	P.21
＜Factsheet＞	・ ・ ・	別紙

2024年2月期 第2四半期
連結決算概況



連結決算サマリー

売上高

- 機械部門では前年不振であった米国子会社Freund – Vectorが回復
- 化成品部門は医薬品添加剤および品質保持剤とも引続き好調を維持

利益

- 前年度は営業赤字を余儀なくされたが、当年度は増益、黒字確保
- 好調な化成品部門の牽引に加え、米国子会社の業績回復、黒字化が主因

(単位：百万円)	2023/2月期 上半期	2024/2月期 上半期	前年比増減	
				%
売上高	8,534	9,583	1,049	12.3%
営業利益	△67	177	245	—
経常利益	32	195	163	499.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△17	115	132	—
一株純利益 (円)	△1.02	6.91	7.93	—
減価償却費	275	262	△13	△4.8%
研究開発費	301	325	24	8.2%

機械部門：概況

売上高

- 国内は主要案件が3Q以降に集中するため、前年比では減収
- 海外は米国子会社が前年度繰越分を含め着実に出荷、増収、国内減収分をカバー

営業利益

- 前年度大幅赤字にあった米国子会社が回復したため、黒字化を実現

受注・受注残高

- 受注は、国内ジェネリックメーカーの活発な大型設備投資を背景に好調を堅持
- 受注残高は前年比大きく増加し、過去最高を更新

(単位：百万円)	2023/2月期 上半期	2024/2月期 上半期	前年比増減	
				%
売上高	5,420	6,246	825	15.2%
営業利益	△268	45	313	—
受注高	8,409	9,246	837	10.0%
受注残高	14,275	16,179	1,903	13.3%

機械部門：グループ会社別動向（売上・営業利益）

単体	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内における一部部材調達の長期化影響を主因として減収 ● 利益面は部品・メンテナンス売上が好調であった要因もあり改善
フロイント・ターボ	<ul style="list-style-type: none"> ● 大口案件を着実にクロージングし、前年度赤字から黒字化を実現
Freund-Vector	<ul style="list-style-type: none"> ● 前年度は部材調達長期化や出荷遅延、原材料高騰に伴う採算悪化で苦戦したが、今年度は採算改善や繰越案件等着実に出荷、黒字回復
Cos.Mec	<ul style="list-style-type: none"> ● 主要案件が後半に集中する中、上半期は苦戦するも改善基調

(単位：百万円) グループ会社別は連結調整前	2023/2月期	2024/2月期	前年比増減	
	上半期	上半期		%
売上高	5,420	6,246	825	15.2%
単体	2,468	2,116	△351	△14.2%
フロイント・ターボ	739	878	139	18.8%
Freund-Vector	2,165	3,033	868	40.1%
Cos.Mec	439	412	△27	△6.2%
営業利益	△268	45	313	—
単体	62	64	1	3.0%
フロイント・ターボ	△17	38	55	—
Freund-Vector	△252	26	278	—
Cos.Mec	△27	△95	△67	—

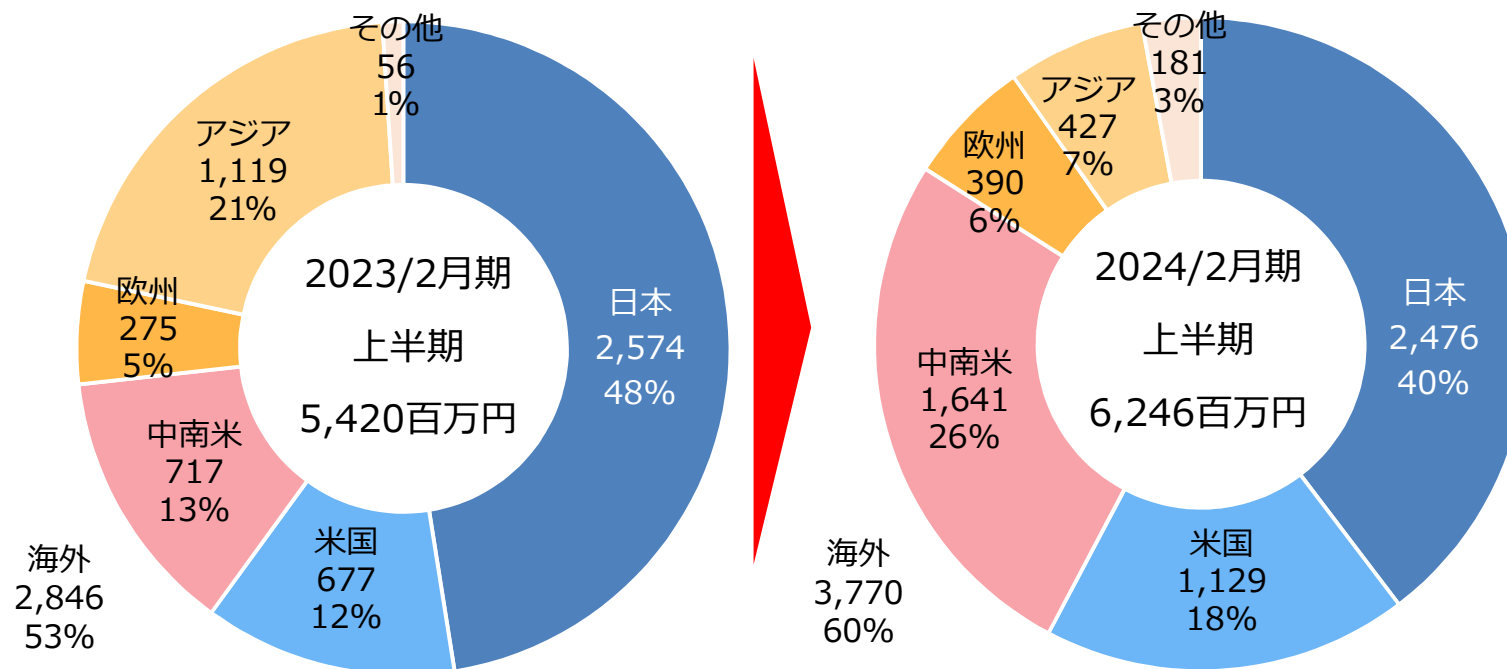
機械部門：グループ会社別動向（受注高・受注残高）

単体	受注高は、国内ジェネリックメーカーの大型設備投資需要を中心に 取り込み、受注残高は過去最高額を更新
フロイント・ターボ	受注高は大口案件が含まれた前年度に比すれば減少、受注残高も 売上進捗により減少
Freund – Vector	期待された大口案件の受注がずれ込み、前年度比大きく減少
Cos.Mec	受注高は前年比大きく増加、受注残高は前年度を上回る水準を確保

(単位：百万円) グループ会社別は連結調整前	2023/2月期	2024/2月期	前年比増減	
	上半期	上半期		%
受注高	8,409	9,246	837	10.0%
単体	5,294	6,264	970	18.3%
フロイント・ターボ	908	647	△261	△28.7%
Freund-Vector	1,993	1,684	△309	△15.5%
Cos.Mec	349	689	340	97.5%
受注残高	14,275	16,179	1,903	13.3%
単体	8,005	12,157	4,152	51.9%
フロイント・ターボ	969	699	△270	△27.9%
Freund-Vector	4,248	2,022	△2,226	△52.4%
Cos.Mec	1,176	1,414	237	20.2%

機械部門：地域別売上高

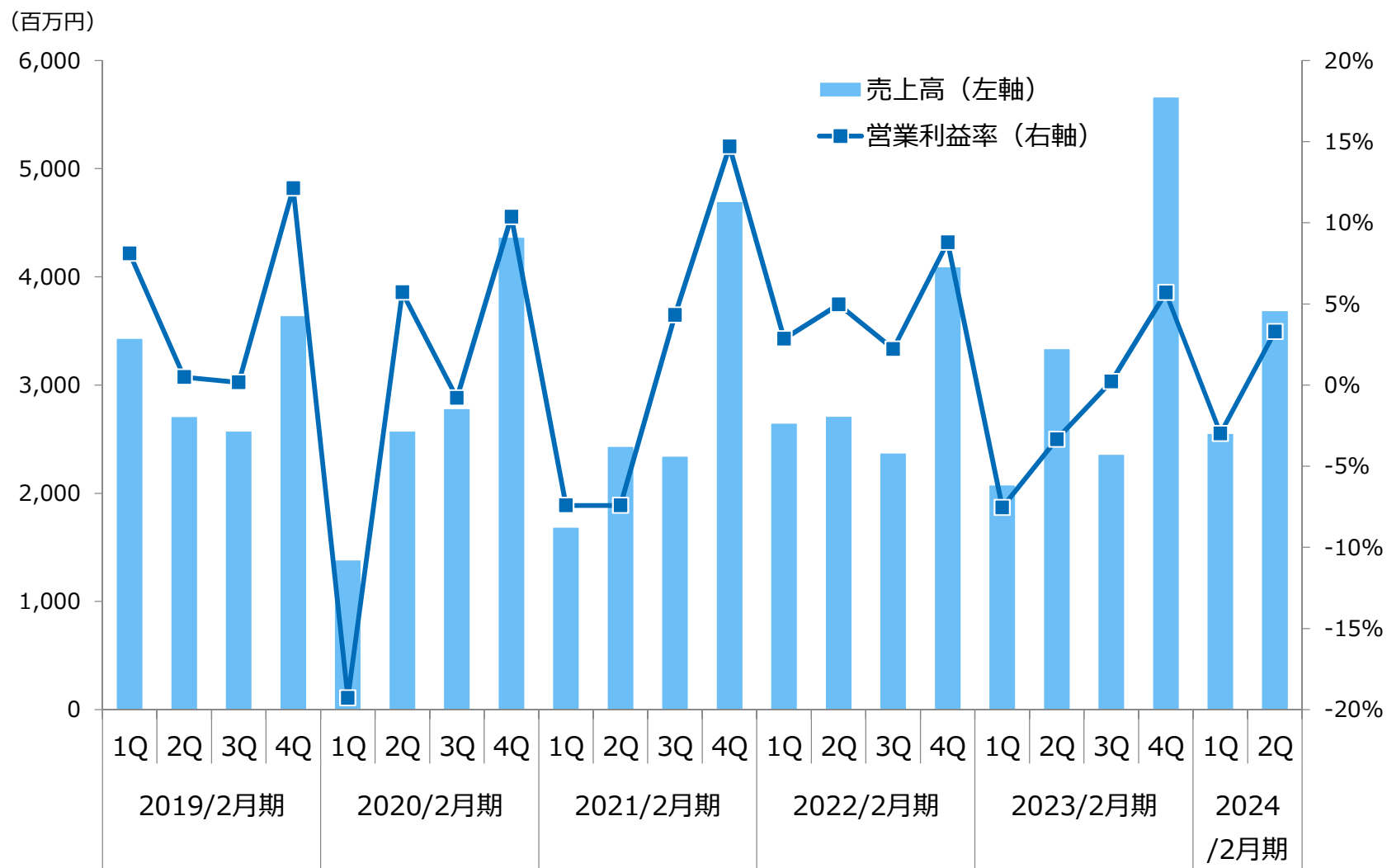
- | | |
|-----------|---|
| 国内 | <ul style="list-style-type: none"> ● 一部部品調達の長期化は改善せず、また主要案件が3Q以降集中のため減収 ● 米国子会社の業績回復により、国内売上高比率は40%まで低下 |
| 海外 | <ul style="list-style-type: none"> ● 米国子会社の米国、中南米の売上増が大きく貢献 ● 円安要因も加わり、機械部門の海外売上高比率は60%に拡大 |



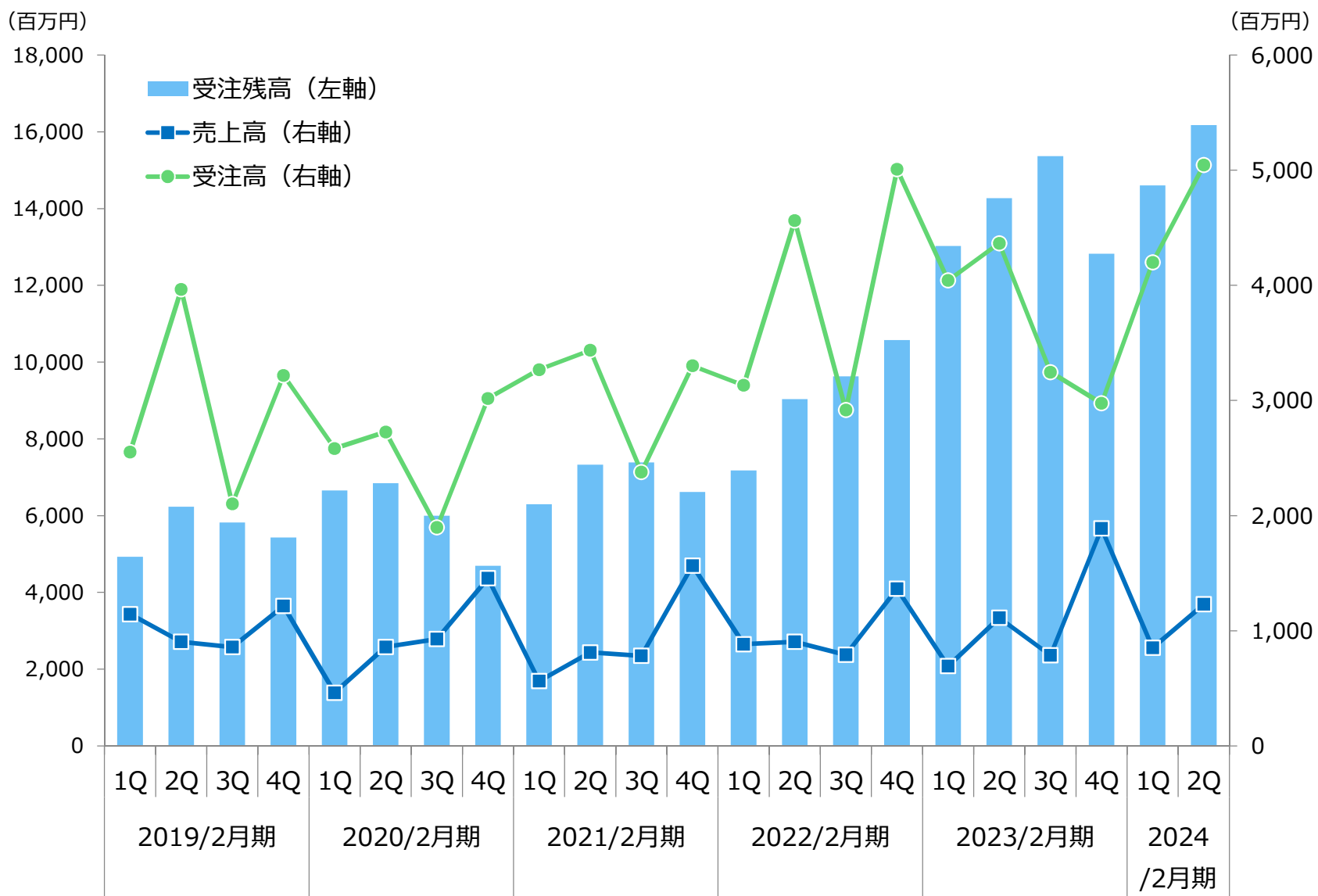
機械部門：四半期推移

【売上高】

【営業利益率】



機械部門：四半期推移（売上高・受注高・受注残高）



化成品部門：概況

売上高

過去最高の売上を記録した前年度を上回り、引続き堅調に推移

医薬品添加剤：前年度では翌四半期に期ズレとなった主要製品が、今年度は例年通り販売となった結果により増収

食品品質保持剤：ネット通販のパン向け需要が堅調に推移し、引続き全体を牽引

輸出：一部ユーザーの生産調整があり減収

営業利益

売上総利益率は前年同水準を維持し、利益額は増加したものの、共通経費負担増により営業利益は前年並

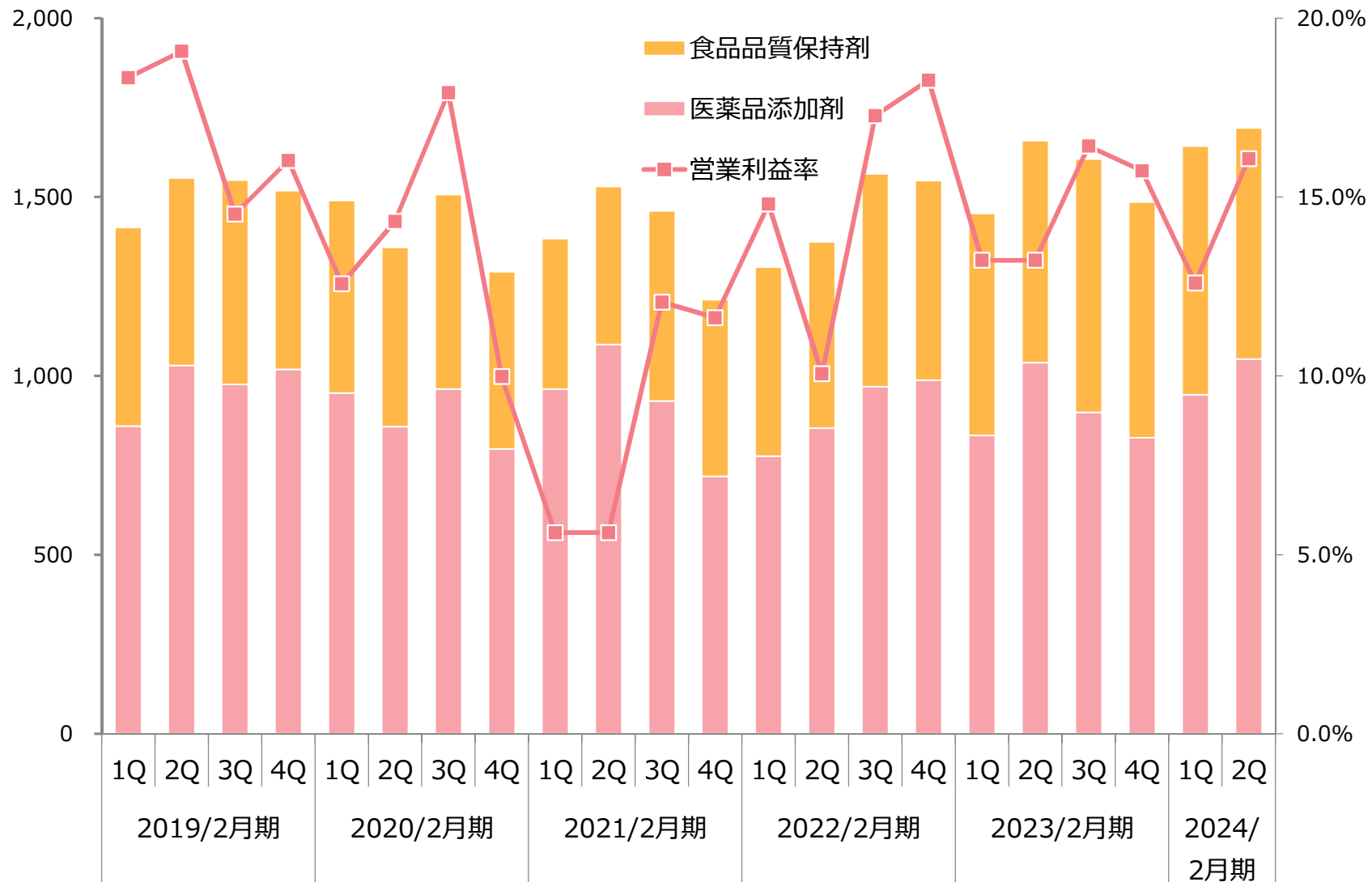
(単位：百万円)	2023/2月期 上半期	2024/2月期 上半期	前年比増減	
				%
売上高	3,113	3,337	223	7.2%
医薬品添加剤	1,872	1,995	123	6.6%
食品品質保持剤	1,241	1,341	100	8.1%
(輸出)	(171)	(131)	(△39)	(△23.2%)
営業利益	478	479	1	0.2%

化成品部門：四半期推移（分野別業績）

【売上高】

(百万円)

【営業利益率】



連結損益計算書サマリー

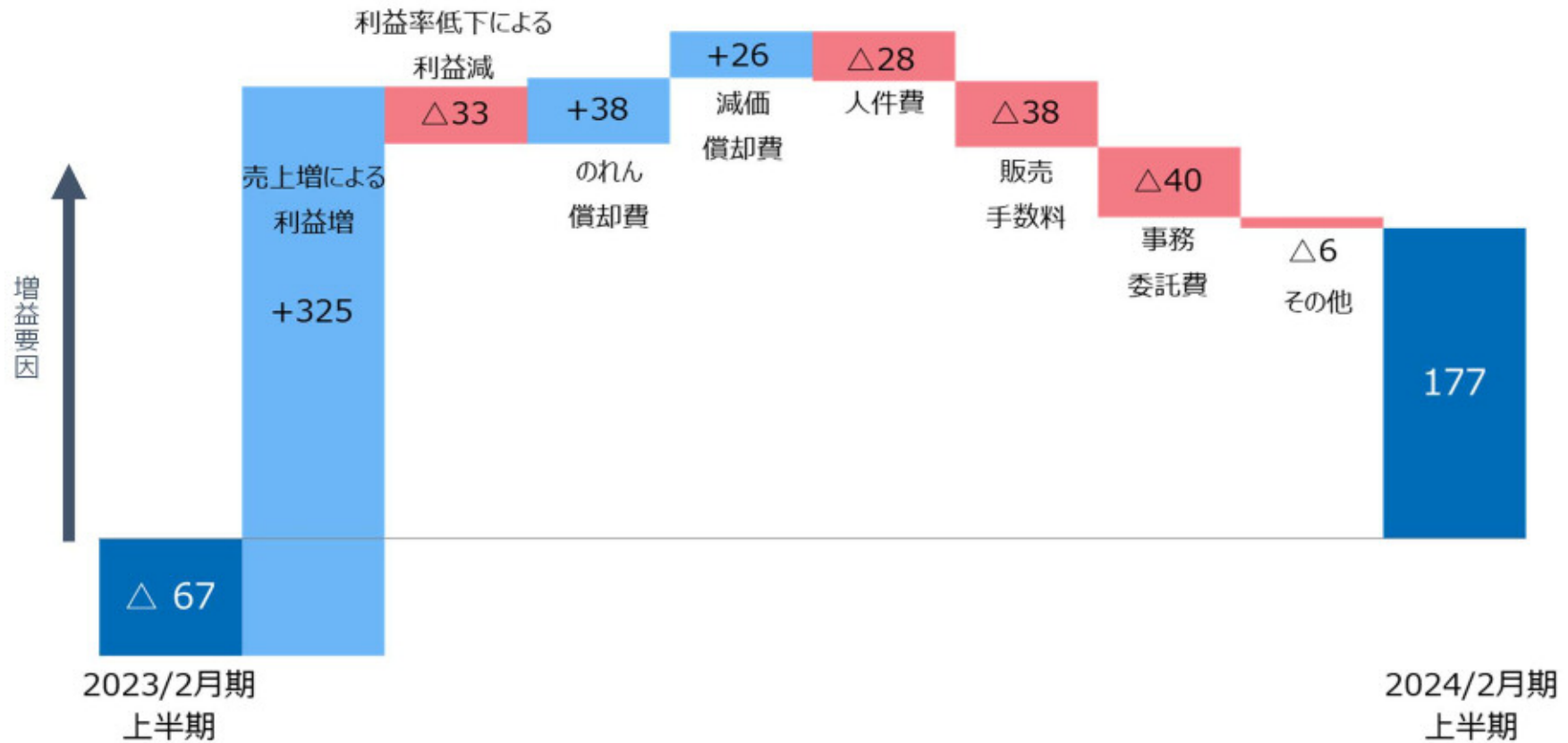
- 米国子会社の業績回復により増収増益、営業利益、四半期純利益とも黒字化
- 営業外損益では、為替差益（95百万円）が大きく計上されていた前年度に比し減少

(単位：百万円)	2023/2月期 上半期		2024/2月期 上半期		前年比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
売上高	8,534	100.0	9,583	100.0	1,049	12.3%
売上原価	5,853	68.6	6,610	69.0	756	12.9%
売上総利益	2,681	31.4	2,973	31.0	292	10.9%
販管費	2,748	32.2	2,796	29.2	47	1.7%
営業利益	△ 67	△ 0.8	177	1.8	245	—
営業外損益	100	1.2	18	0.2	△ 81	△ 81.8%
経常利益	32	0.4	195	2.0	163	499.9%
特別損益	8	0.1	△ 16	△ 0.2	△ 24	—
税金等調整前四半期純利益	40	0.5	179	1.9	138	339.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 17	△ 0.2	115	1.2	132	—

連結営業利益増減分析

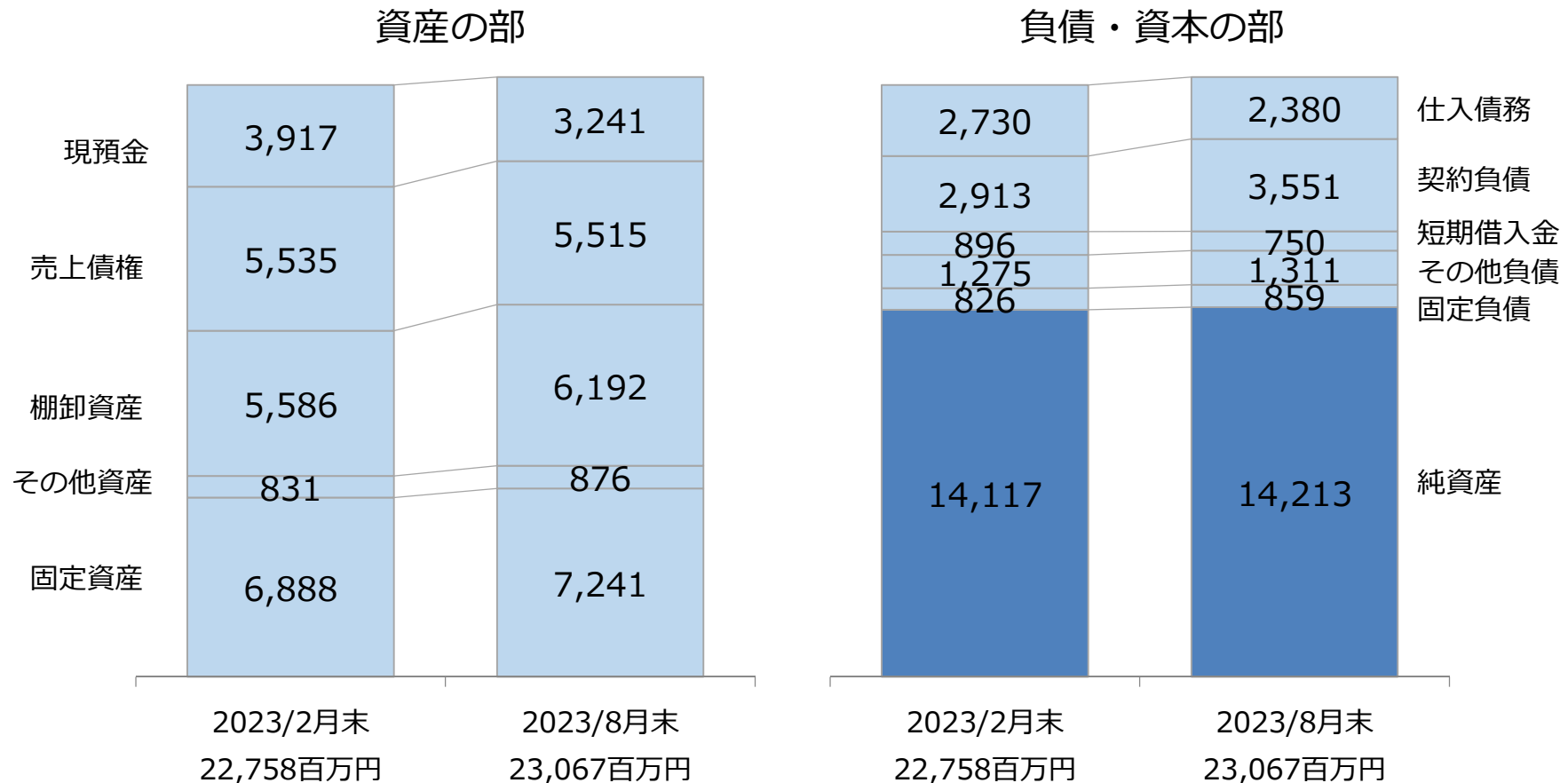
- 米国子会社を中心とした増収を主因に、売上総利益は前年同期比大きく増加
- 販売管理費は単体の事務委託費や人件費、海外子会社を含め販売手数料が増加となったが、増収要因により吸収し、営業利益は黒字化

(単位：百万円)



連結貸借対照表サマリー

- 好調な受注を背景に、単体を中心に棚卸資産（仕掛品）及び契約負債も増加
- 配当金支払もあり純資産は微増に止まるが、自己資本比率は61.6%と依然高水準
- 総資産額は増加となったが、円安進行に伴う為替要因が大きく影響



連結キャッシュフロー計算書サマリー

(単位：百万円)	2023/2月期 上半期	2024/2月期 上半期
営業キャッシュフロー	△ 946	225
税引前利益	40	179
減価償却費	275	262
売上債権の増減額（△は増加）	884	131
棚卸資産の増減額（△は増加）	△ 717	△ 348
仕入債務の増減額（△は減少）	△ 674	△ 379
法人税等の支払額	△ 236	△ 112
投資キャッシュフロー	△ 270	△ 364
有形固定資産の取得による支出	△ 130	△ 180
無形固定資産の取得による支出	△ 160	△ 179
財務キャッシュフロー	541	△ 575
短期借入金	900	△ 199
配当金の支払額	△ 334	△ 332
現金及び現金同等物 増減額	△ 506	△ 675
現金及び現金同等物 期末残高	3,638	3,241
フリー・キャッシュフロー	△ 1,217	△ 139

2024年2月期
連結業績・配当予想



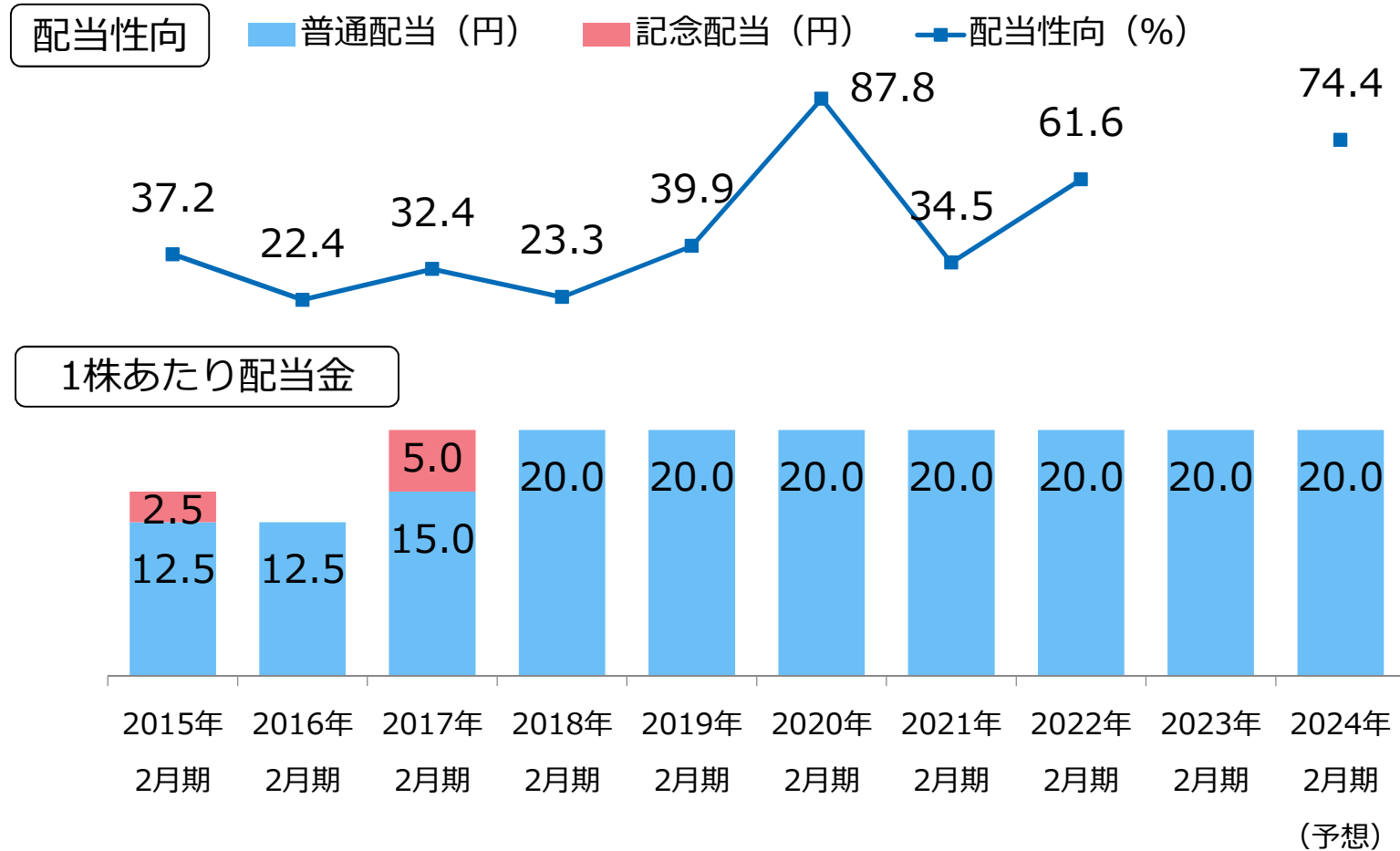
連結業績予想サマリー

- 通期業績予想は期初公表値と不変
- 堅調な化成品の業績の維持、拡大に加え、機械の主要案件は内外とも3Q以降に集中するため、グループ一丸となり確実なクロージングに注力

(単位：百万円)	2023/2月期	2024/2月期	前年比増減	
	実績	予想		%
売上高	19,658	20,000	+342	+1.7%
営業利益	451	700	+249	+55.2%
経常利益	559	650	+91	+16.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲538	450	+988	—
一株純利益 (円)	▲32.15	26.87	+59.02	—

配当予想サマリー

当年度においても、長期的に安定した配当を維持していくことを基本方針とする中、昨年と同額の1株あたり20円を維持、期初予想は不変



(注) 2023年2月期の連結配当性向については、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しているため記載しておりません。
 2016年3月1日付けで株式分割1対2を実施しており、2016年2月期以前の配当金は分割調整後の金額です。
 記念配当については、2015年2月期は創立50周年記念配当、2017年2月期は上場20周年記念配当を示します。

トピックス



Copyright(C) 2023 Freund Corp. All rights reserved.



譲渡制限付株式（RS）の付与

- 当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、譲渡制限付株式報酬制度を導入
- 取締役及び執行役員に加え、従業員を対象に譲渡制限付株式を付与
- 特に従業員が株主・投資家の皆さまと同じ視点を持つことによる株主意識の醸成を図るとともに、人的資本経営の一環として従業員エンゲージメントの向上を志向

対象者	①取締役および執行役員（社外取締役、監査役は除く） ②従業員221名（嘱託社員、契約社員を含む）
付与株式数	① 23,173株 取締役4名 18,673株 執行役員3名 4,500株 ②133,500株（1人あたり500株または1,000株）
株式払込日	①2023年6月30日 ②2023年8月25日
譲渡制限解除日	①取締役乃至は執行役員を退任する日 ②2026年6月10日

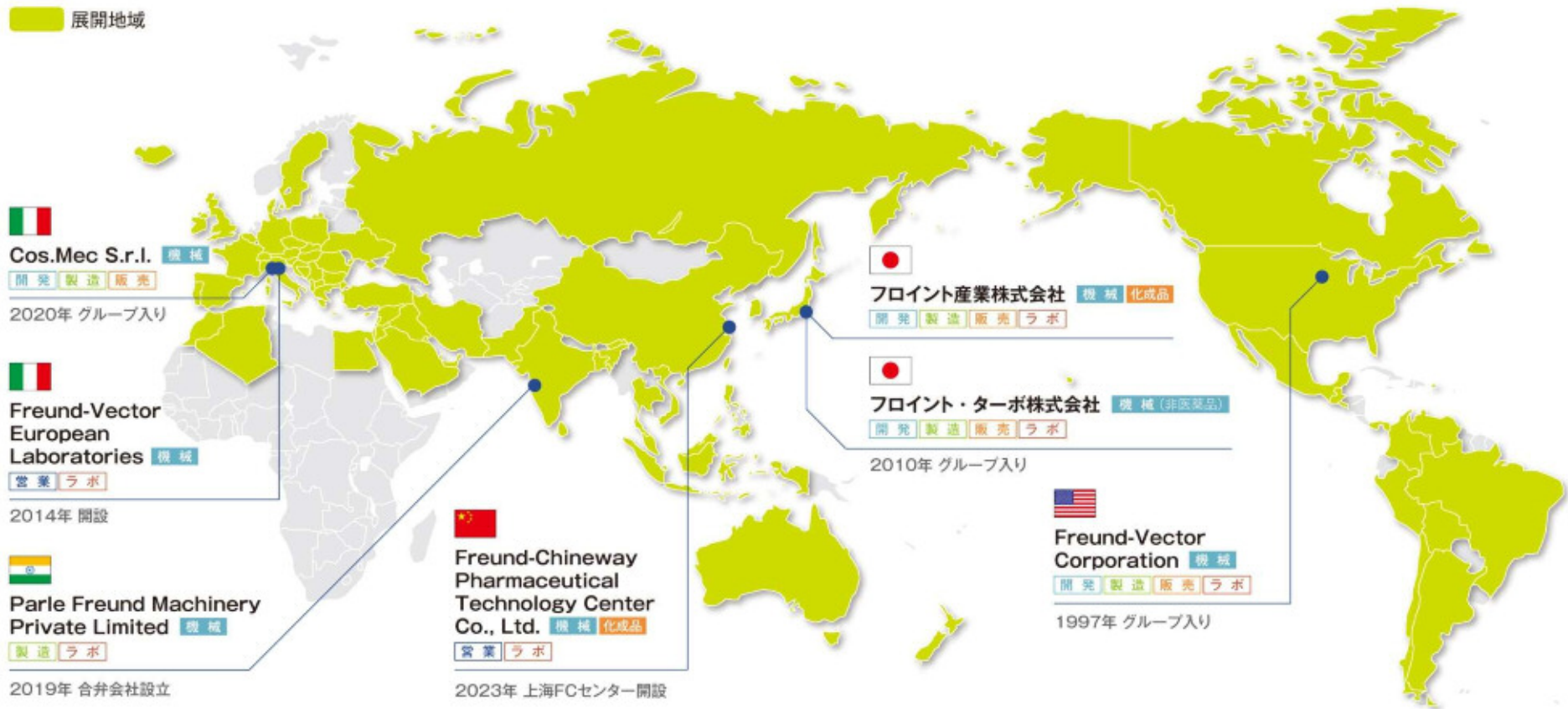
(参考資料)

- ・ プロフィール
- ・ セグメント情報

プロフィール

●社名	:	フロイント産業株式会社
●設立	:	1964年4月
●代表者	:	代表取締役社長 伏島 巖
●所在地	:	東京都新宿区西新宿六丁目25番13号
●資本金	:	10億3,560万円 (2023年2月末現在)
●売上高	:	196億円 (2023年2月期：連結)
●従業員	:	482名 (2023年2月末現在：連結)
●事業内容	:	機械事業 …… 造粒・コーティング装置等の製造販売 化成品事業 …… 医薬品添加剤、食品品質保持剤等の製造販売
●グループ会社	:	Freund-Vector Corporation フロイント・ターボ株式会社 Cos.Mec s.r.l. Parle Freund Machinery Private Limited Freund-Chineway Pharmaceutical Technology Center Co.,Ltd.

独創的技術でのグローバル化を積極的に推進



独創的技術でのグローバル化を積極的に推進



ビジネスモデルの特徴は「Pen」と「Ink」

1. 機械部門



- 医薬品、食品、ファインケミカルなどのさまざまな分野向けに造粒、コーティング装置などを製造・販売
- コーティング装置の国内販売シェアはトップ
アジア市場に加え、米国子会社の欧・米展開も加速
世界で製剤技術と機械装置を唯一共有する
- 造粒・コーティング技術に粉碎・分級技術を融合させることで産業向け装置の拡販も注力

2. 化成品部門

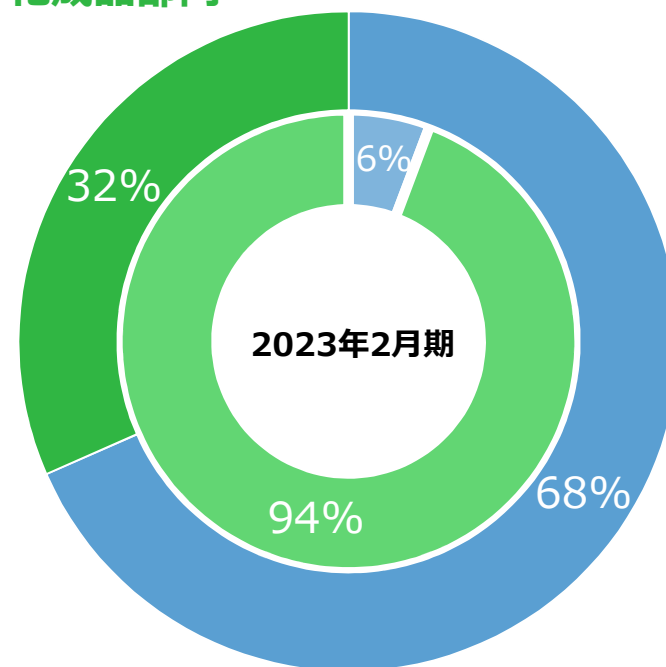


- 医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などを製造・販売
- 医薬品添加剤は、GMP※1対応設備で生産
- 食品品質保持剤は、さまざまな食品の品質保持に利用され、安全な食生活に役立つ
- 造粒・コーティング技術を用い、ユーザーとの共同開発で栄養補助食品やシームレスミニカプセルを商品化

※1 GMP : Good Manufacturing Practice

セグメント別 売上高及び利益構成

化成品部門



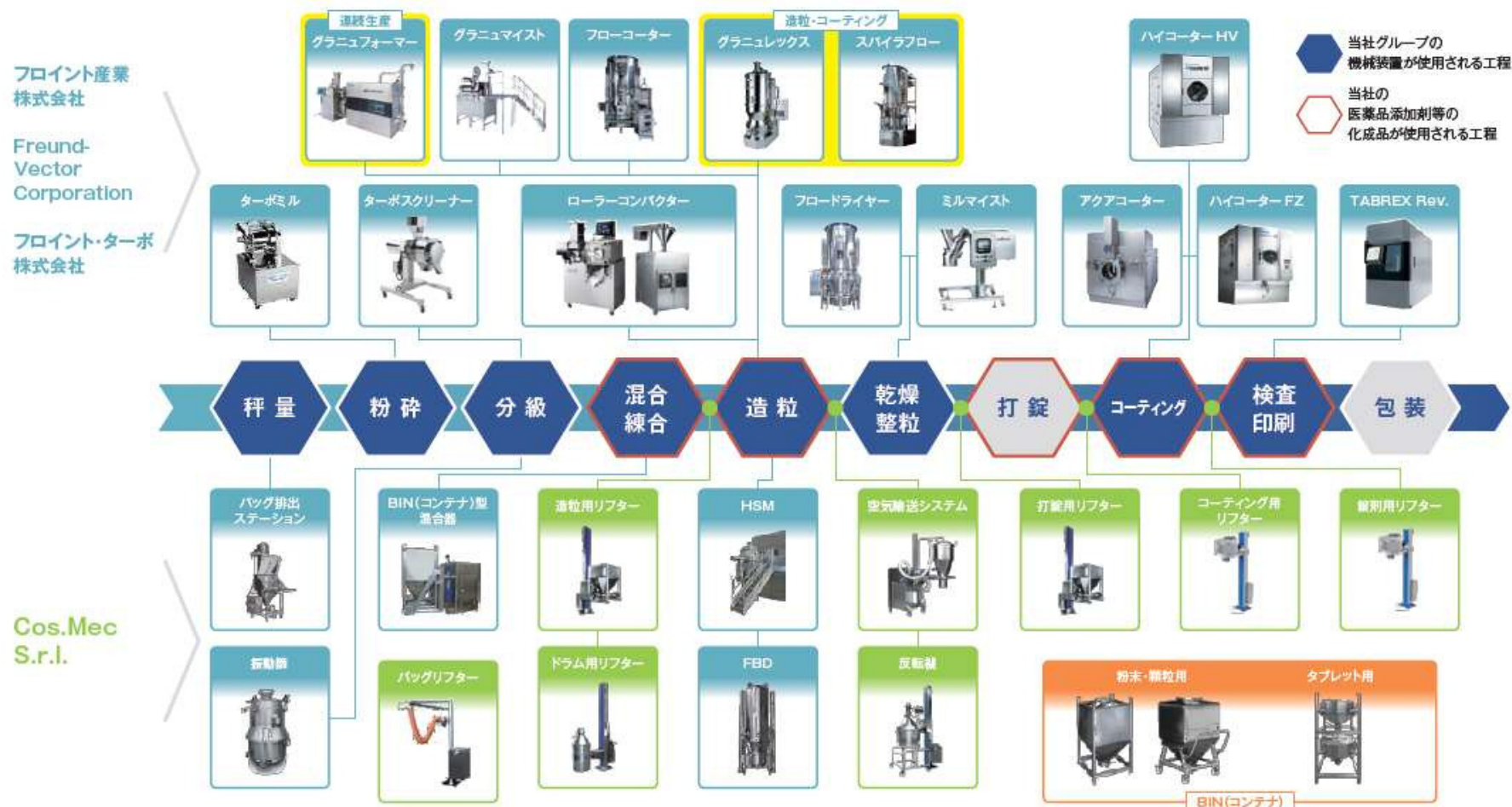
機械部門

連結売上高 **196.5**億円
連結営業利益 **4.5**億円

グループのビジネスフィールド

- 医薬品の製造工程に基づくフロイントグループの事業領域

フロイントグループのビジネスフィールド



フロントグループ ディスクロージャーポリシー

1. 情報開示の基本方針

当社は、広く社会に信頼される企業として、経営の透明性向上を重要な責務のひとつと考えています。その考えに基づき、すべてのステークホルダーの皆さまに、会社情報の公平かつ適時適正な開示を継続的にを行います。

2. 情報開示の基準

当社は、会社法、金融商品取引法などの関係法令および当社が上場する証券取引所が定める適時開示に関する諸規則にしたがって、情報開示を行います。

当社は、関係法令および適時開示に関する諸規則に該当しない情報であっても、株主・投資家の皆さまの投資判断にとって必要であると考えられる情報については、積極的に開示いたします。

3. 情報開示の方法

当社は、東京証券取引所の提供する適時開示情報伝達システム（Timely Disclosure network、以下「TDnet」という）を通じて情報を開示いたします。TDnetにより開示した情報は、情報開示の適時性・公平性に配慮し、速やかに当社のインターネットホームページに掲載いたします。

そのほかの情報についても、適時開示の趣旨に則り、プレスリリース、当社のインターネットホームページへの掲載などにより公平かつ迅速に開示いたします。より多くのステークホルダーの皆さまに分かりやすい開示を行うため、開示情報は日本語とあわせ、その英訳の開示に努めます。

4. インサイダー取引の未然防止

当社は、内部情報の適切な管理および株式などの売買などについて遵守すべき基本事項を社内規則に定め、インサイダー取引規制の周知徹底と株式などの売買管理体制の適切な運用により、インサイダー取引を未然に防止します。

5. 沈黙期間

当社は、決算情報の漏洩を防止し、法令遵守および公平性を確保するため、各四半期決算期日の翌日から当該決算発表日までを「沈黙期間」と定めます。当該期間中は、決算に関連するコメントや質問・照会に対する回答は差し控えさせていただきます。ただし、業績が予想と大きく乖離する可能性がある場合には、適時開示に関する諸規則に従い適時適正に開示いたします。

6. 将来予測について

当社が開示する情報の中には、業績予想以外にも戦略、事業計画などの将来予測に関する情報が含まれておりますが、これらの情報は作成段階において入手可能な情報をもとに判断したものであり、その後の経済情勢や市場環境の変化などによって、将来予測は大きく異なる可能性があります。

(2017年3月27日制定)

I R活動の方針

株主・投資家との建設的な対話に関する方針

当社は、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上をめざし、株主・投資家の皆様との建設的な対話を積極的に進めます。当社の経営方針や経営状況、企業文化をわかりやすく説明し、株主・投資家の皆様のご理解を得て、「FREUNDファン」として継続的にご支援いただけるように努めます。

1. 推進体制株主・投資家の皆様との対話

取締役CFOが統括し、IR担当部署の管理本部経理部が担います。

株主の皆様との対話を促進するため、社内の関連部門は、開示資料の作成・審査や必要な情報の共有など、積極的に連携を図り、公正且つ迅速に情報開示を行います。

2. ステークホルダーとの対話

当社は期末及び第2四半期の決算説明会（第1・3四半期はスモールミーティング）を実施し、その情報は当社ウェブサイト公開します。また、中長期経営計画を策定した際には、経営戦略や経営計画についてわかりやすく説明いたします。さらに、機関投資家への訪問も積極的に実施し、経営方針や業績の説明を行います。また、証券会社主催の投資家フォーラムや個人投資家説明会等にも参加します。

株主通信やFREUND Report（統合報告書）の発行、ウェブサイト専用ページ（<https://www.freund.co.jp/ir/>）の開設などにより、事業や財務情報とともに財務諸表に載らない資産（見えない資産）を紹介することで当社グループの企業価値を正しくご理解いただけるように、情報開示の充実に努めます。

3. 株主・投資家からの意見を社内へフィードバックする仕組み

株主・投資家の皆様との対話において把握された意見は、社長、取締役や関係各部に適宜報告し、情報を共有します。

4. インサイダー情報の管理

各四半期の決算期末日より決算発表日までの期間はサイレント（沈黙）期間とし、投資家の皆様との対話を制限しています。インサイダー情報については、社内の内部情報管理・内部者取引規制に関する規程に従い、情報管理の徹底を図っています。

〈お問い合わせ先〉
フロイント産業株式会社
管理本部経理部

TEL:03-6890-0747

FAX:03-6890-0870

E-Mail : ir@freund.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <https://www.freund.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。